



平成24年 2 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年 1 月12日

上場会社名 株式会社エスケイジャパン 上場取引所 東 大
 コード番号 7608 U R L <http://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 敏志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 川上 優 T E L (06) 6765 - 0670
 四半期報告書提出予定日 平成24年 1 月13日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1 . 平成24年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成23年 3 月 1 日 ~ 平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (% 表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年 2 月期第 3 四半期	6,579	8.3	195	32.0	189	34.0	132	12.3
23年 2 月期第 3 四半期	7,176	4.3	287	15.8	287	2.0	118	68.0

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年 2 月期第 3 四半期	16	13	-	-
23年 2 月期第 3 四半期	14	36	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
24年 2 月期第 3 四半期	4,036		1,952		47.9		234	93
23年 2 月期	3,300		1,913		57.6		231	27

(参考) 自己資本 24年 2 月期第 3 四半期 1,932百万円 23年 2 月期 1,902百万円

2 . 配当の状況

	年間配当金									
	第 1 四半期末		第 2 四半期末		第 3 四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
23年 2 月期	-	-	6	00	-	-	6	00	12	00
24年 2 月期	-	-	6	00	-	-	-	-	-	-
24年 2 月期 (予想)	-	-	-	-	-	-	6	00	12	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3 . 平成24年 2 月期の連結業績予想 (平成23年 3 月 1 日 ~ 平成24年 2 月29日)

(% 表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,500	0.4	288	0.4	290	1.0	245	76.0	29	81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 - 社 (社名) 除外 - 社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
会計基準等の改正に伴う変更 : 有
以外の変更 : 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	8,359,103株	23年2月期	8,359,103株
24年2月期3Q	133,845株	23年2月期	133,802株
24年2月期3Q	8,225,300株	23年2月期3Q	8,225,514株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、当期の重点課題である顧客ニーズに基づいたモノづくりと商品の提案、新規キャラクターの発掘及び新規事業の育成・拡大を実施してまいりました。新たに手掛けたキャラクター商品のヒットや、海外を含めた新規事業で軌道に乗り出したものもありましたが、グループ全体の業績にインパクトを与えるまでには至らず、総じて苦戦する状況となりました。この結果、売上高は6,579百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益は195百万円（前年同期比32.0%減）、経常利益は189百万円（前年同期比34.0%減）、四半期純利益は132百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

当社グループにおける従来のセグメント区分は「卸売事業」及び「小売事業」でしたが、第1四半期連結会計期間より、セグメント情報等の開示に関する会計基準等を適用し、「卸売事業」を「キャラクターエンタテインメント事業」と「キャラクター・ファンシー事業」に、「小売事業」の名称を「リテイル事業」に変更しております。

なお、前年同四半期比較にあたっては、変更後のセグメント区分に組み替えております。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、チェーン展開するオペレーターへの販売強化を引き続き推進しましたが、前年同期にヒットした「スージー・ズー」の反動と、それに代わる商品の企画・仕入が思うように進まず、全体を通して厳しい状況となりました。この結果、売上高は2,859百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

SP（セールスプロモーション）部門におきましては、雑誌の付録を中心にOEMが決まりましたが、前年同期に好調であった外食産業のキャンペーン商品や製薬会社の販促商品の受注が振るわず、売上高は759百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

EC（イーコマース）部門におきましては、オリジナルキャラクターである「でぶねこ」「まるねこ」等、EC専用商品の開発と投入による他社サイトとの差別化や、自社ECサイトの構築及び外部サイトからの誘導といった販促活動を展開しました。商品面では、人気キャラクターのぬいぐるみや雑貨、収納ボックス等が好調に推移し、売上高は68百万円（前年同期比106.9%増）となりました。

以上の結果により、売上高は3,688百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は14百万円（前年同期比86.5%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、新規のゲームキャラクターの商材が好調であったことに加え、震災による節電の影響で省エネグッズや携帯充電器が伸長し、またコンビニエンスストア向けホビー商材が好調でありました。しかしながら前年の売上を牽引していた人気キャラクターの落ち込みとスマートフォンの普及による携帯ストラップの需要の低下が大きく影響いたしました。

以上の結果により、売上高は2,252百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は190百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

<リテイル事業>

当事業におきましては、「ナカヌキヤ」3店舗において、松山銀天街店は利益を確保しましたが、広島本通り店は前年同期の売上を割り込む結果となりました。また、心齋橋店は東日本大震災の影響による外国人観光客の減少及び近隣にオープンした商業施設への顧客シフト等の影響により厳しい状況となりました。

「SALAD BOWL」では、広島ASSE店が好調に推移しましたが、尼崎TSUKASHIIN店は若干の赤字となりました。

以上の結果により、売上高は638百万円（前年同期比12.7%減）、営業損失は18百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて735百万円増加し、4,036百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加額483百万円、商品の増加額175百万円、現金及び預金の増加額105百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて697百万円増加し、2,084百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額424百万円、短期借入金の増加額150百万円、賞与引当金の増加額39百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて38百万円増加し、1,952百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額33百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて105百万円増加し、976百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、55百万円(前年同期は192百万円の獲得)となりました。

これは主に、売上債権の増加額が483百万円及びたな卸資産の増加額が175百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が187百万円、賞与引当金の増加額が39百万円、仕入債務の増加額が424百万円及び法人税等の還付額が77百万円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、37百万円(前年同期は6百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が10百万円及び保険積立金の積立による支出が23百万円(投資活動によるキャッシュ・フロー「その他」)あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、90百万円(前年同期は75百万円の獲得)となりました。

これは主に、配当金の支払額が59百万円あったこと等により一部相殺されたものの、短期借入金の純増額が150百万円あったことを反映したものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ813千円減少し、税金等調整前四半期純利益は6,950千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は9,967千円であります。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「受取家賃」は前第3四半期連結累計期間まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりましたが、当第3四半期連結累計期間における営業外収益の総額の100分の20を超えたため区分掲記いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間における「受取家賃」の金額は1,625千円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,547	871,000
受取手形及び売掛金	1,465,877	982,039
商品	503,591	327,970
繰延税金資産	22,008	18,960
その他	103,461	143,364
貸倒引当金	9,777	5,861
流動資産合計	3,061,708	2,337,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	435,423	428,469
減価償却累計額	159,180	150,245
建物及び構築物(純額)	276,243	278,223
車両運搬具	10,717	8,609
減価償却累計額	6,214	4,385
車両運搬具(純額)	4,502	4,224
その他	66,577	63,233
減価償却累計額	53,672	45,526
その他(純額)	12,904	17,707
土地	266,356	266,356
有形固定資産合計	560,006	566,511
無形固定資産	8,222	7,206
投資その他の資産		
投資有価証券	46,915	50,497
繰延税金資産	3,865	3,792
その他	372,357	352,602
貸倒引当金	16,339	17,098
投資その他の資産合計	406,799	389,793
固定資産合計	975,029	963,511
資産合計	4,036,737	3,300,986

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,085,443	661,112
短期借入金	500,000	350,000
未払法人税等	31,264	46,398
繰延税金負債	-	5,620
賞与引当金	82,930	43,774
その他	235,017	140,449
流動負債合計	1,934,655	1,247,356
固定負債		
繰延税金負債	1,505	228
退職給付引当金	4,394	10,645
役員退職慰労引当金	133,326	127,883
資産除去債務	10,056	-
その他	330	1,026
固定負債合計	149,612	139,784
負債合計	2,084,268	1,387,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,072,648	1,038,677
自己株式	51,200	51,190
株主資本合計	1,934,285	1,900,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	576	4,165
繰延ヘッジ損益	20	291
為替換算調整勘定	2,500	1,950
評価・換算差額等合計	1,945	1,923
新株予約権	20,130	11,598
純資産合計	1,952,469	1,913,845
負債純資産合計	4,036,737	3,300,986

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	7,176,277	6,579,284
売上原価	5,222,517	4,788,086
売上総利益	1,953,760	1,791,197
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	588,665	585,453
賞与引当金繰入額	96,340	82,930
退職給付費用	27,379	20,640
役員退職慰労引当金繰入額	5,428	5,442
その他	948,637	901,387
販売費及び一般管理費合計	1,666,451	1,595,854
営業利益	287,308	195,343
営業外収益		
受取利息	253	159
受取配当金	1,003	1,538
受取家賃	-	1,594
法人税等還付加算金	-	2,091
その他	9,774	2,451
営業外収益合計	11,032	7,835
営業外費用		
支払利息	4,246	2,978
投資有価証券評価損	-	2,210
為替差損	3,565	7,159
その他	2,982	1,113
営業外費用合計	10,794	13,462
経常利益	287,546	189,716
特別利益		
固定資産売却益	7,161	183
貸倒引当金戻入額	-	3,288
その他	168	288
特別利益合計	7,329	3,760
特別損失		
固定資産売却損	110	84
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	6,136
商品不良損失	102,630	-
特別損失合計	102,740	6,221
税金等調整前四半期純利益	192,134	187,256
法人税、住民税及び事業税	75,637	62,018
法人税等調整額	1,624	7,437
法人税等合計	74,012	54,581
少数株主損益調整前四半期純利益	-	132,674
四半期純利益	118,122	132,674

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	192,134	187,256
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	6,136
賞与引当金の増減額(は減少)	54,728	39,155
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,428	5,442
貸倒引当金の増減額(は減少)	78	3,156
退職給付引当金の増減額(は減少)	12,467	6,250
差入保証金の増減額(は増加)	23,399	1,386
受取利息及び受取配当金	1,257	1,697
支払利息	4,246	2,978
投資有価証券評価損益(は益)	1,832	2,210
売上債権の増減額(は増加)	84,833	483,958
たな卸資産の増減額(は増加)	144,437	175,714
仕入債務の増減額(は減少)	512,002	424,616
その他	94,840	56,874
小計	480,950	61,592
利息及び配当金の受取額	1,424	1,749
利息の支払額	4,242	3,001
法人税等の支払額	285,998	81,437
法人税等の還付額	-	77,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,133	55,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	20,930	10,909
投資有価証券の売却による収入	18,819	-
その他	4,300	27,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,411	37,967
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	150,000	150,000
自己株式の取得による支出	11	9
配当金の支払額	74,802	59,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,185	90,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,585	3,205
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	255,321	105,546
現金及び現金同等物の期首残高	823,796	871,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,079,117	976,547

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,445,082	731,195	7,176,277	-	7,176,277
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,906	-	2,906	(2,906)	-
計	6,447,988	731,195	7,179,183	(2,906)	7,176,277
営業利益又は営業損失()	294,557	8,022	286,535	773	287,308

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売及び
電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、㈱エスケイジャパン、㈱サンエス、㈱ケー・ディー・システム、㈱ナカヌキヤ、SKJ USA, INC.の5事業会社を軸として展開しており、以下の事業内容に基づき「キャラクターエンタテインメント事業」、「キャラクター・ファンシー事業」、「リテイル事業」の3つを報告セグメントとしております。

<キャラクターエンタテインメント事業> ㈱エスケイジャパン SKJ USA, INC.

主として、キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を国内外のアミューズメント施設へ販売する事業及び企業の販売促進商品を企画販売する事業であります。

<キャラクター・ファンシー事業> ㈱サンエス ㈱ケー・ディー・システム

キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を雑貨専門店や量販店等へ販売する事業であります。

<リテイル事業> ㈱ナカヌキヤ

「ナカヌキヤ」「SALAD BOWL」で生活雑貨、コスメ等を販売する事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,688,495	2,252,721	638,067	6,579,284	-	6,579,284
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,517	176,483	-	197,000	(197,000)	-
計	3,709,013	2,429,205	638,067	6,776,285	(197,000)	6,579,284
セグメント利益 又は損失()	14,743	190,401	18,646	186,498	8,844	195,343

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額8,844千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。